

# 令和2年度 留萌地区の巻

事務局 苫前町立古丹別小学校

留萌管内小中学校長会は、管内27校（小学校15校、中学校10校、小中併置校2校）の校長で組織している。今年度は新採用の校長3名を迎え、4月14日に理事総会を開催し、新たな組織体制で活動をスタートした。

## I 本年度の活動方針

未来社会の要請に応える学校教育の在り方と方策が盛り込まれた学習指導要領の全面实施に向けた取組は、留萌管内の各学校においても、着実に進んでいる。

激しく変化し続けるこれからの時代、学校においては、校長の明確なビジョンのもと、「生き抜く力」を育む教育課程の編成、実施と評価、改善に努め、学校教育の進化と質的向上に努めなければならない。また、自立した人間として、多様な他者と協働しながら創造的に生きていくために必要な資質・能力の育成が求められる。加えて、学力や体力の向上、いじめや不登校の防止に向けた取組、学校における働き方改革の実現や子どもと向き合う時間の確保など、山積し続ける緊急かつ重要な課題にも対応していかなければならない。

留萌管内校長会では、それぞれの学校教育目標の実現と数多くの教育課題に対応するため、会員相互の連携を図る中で、校長の強いリーダーシップの発揮により課題を解決し、管内教育の充実を目指している。

「自立と創造」と「共生と躍進」を2本柱とする「留萌教育のめざす姿」を実現するため、学校が変わること、学校を変えることを躊躇せず、新たな取組にチャレンジするとともに、管内校長会の指標である「和心一統」のもと、校長としての職能向上に努めながら公教育に携わる使命感をもち、志を高く掲げ、明日を生きる留萌の子どもたちをしっかりと育てていく覚悟



日本海沿岸に立ち並ぶ風車（苫前町）

を固め、次に示す運営方針で適正な校長会の運営を推進していく。

- 1 校長の使命と責任を自覚し、自らの識見を高める研修の充実と情報の共有を図る。
- 2 会員相互の連携を密にして信頼関係を深め、組織の強化と活動の充実を図る。
- 3 物事や事象の変化に対し、柔軟に対応できる組織を確立し、その時のベストを目指す。
- 4 教育関係機関・団体及び地域社会との連携を強化し、諸問題の解決を図る。

## II 活動の重点

### 1 教育改革を具現化する学校経営

- ① 確かな力を育む創意ある教育課程の編成、実施と評価、改善
- ② 信頼関係を基盤とした社会に開かれた学校経営の推進
- ③ いじめや不登校等、生徒指導上の諸問題に対する未然防止と迅速な対応
- ④ 児童生徒の安全確保の徹底と危機管理体制の確立と充実
- ⑤ 法令遵守の徹底と服務規律の保持

### 2 研修活動の充実と効率的な環流

- ① 留萌管内校長会教育研究協議会の開催
- ② 留萌地区教育経営研究会の開催
- ③ 研究集録や会報などによる情報の共有と環流活動の充実

### 3 組織の強化と活動の効率化

- ① 理事研修会の活性化による内容面の充実と市町村校長会との連携

- ② 事務局と各部及び市町村校長会との連携
- ③ 教育の諸課題に対する的確な情報提供
- ④ 全道（国）校長会、教育関係機関との連携

#### 4 教職員の待遇改善

- ① 管理職手当、給与体系の改善
- ② 校長の退職手当及び職責に見合う退職時の処遇の充実
- ③ 再任用の拡大と再就職の促進

### Ⅲ 各部の活動方針

#### 1 研究部

研究主題「新しい時代を創造し 豊かに生きるための確かな力を育む小中学校教育の推進～社会に開かれた教育課程の実現を図る校長の在り方～」に基づく研究活動の充実と校長としての識見と指導力向上に努める。

- ① 「社会に開かれた教育課程」の実践的検証と校長個々の職能向上
- ② 管内校長会研究協議会による研究主題の追究と、各市町村校長会との連携による研究・研修の充実
- ③ 令和2・3年度道小提言に向けたプロジェクト委員会による研究推進と提言資料作成
- ④ 研究集録第51号を発刊し、研究の成果と校長会足跡の記録化
- ⑤ 道小・道中研究部、各市町村研究部及び関係機関との連携強化
- ⑥ 留萌管内研究団体連絡協議会の事務局担当として、管内各種研究会の連絡調整

#### 2 組織部

管内校長会の運営方針と活動重点を受け、教育上の諸問題を解決するために、会員相互の意識高揚と組織強化、福利厚生の実現に努め、管内教育の充実・発展に寄与する。

- ① 管内校長会事務局との連携を密にしながら、基礎資料を整理・活用して、組織機能の効率化に努める。
- ② 教育実践の効率化を図るために、教育条件の整備や会員の福利厚生に関する実態把握に努める。

- ③ 教育関係諸団体との積極的な連携を図り、事業への協力と充実に努める。
- ④ 組織・法制に関する研修に努め、学校における指導と管理の調和を図る。
- ⑤ 課題解決に当たり、道小・道中等との連携を密にして、迅速かつ適切な対応に努める。

#### 3 広報部

管内校長会の運営方針並びに活動の重点を受けて、効果的な活動の推進及び会員相互の交流を図り、会員の意識の高揚と組織活動の強化に努める。

- ① 会報「留萌」を定期的に発行し、会員間の情報交換・交流を密にする。
- ② 市町村校長会広報部や道小・道中情報部との連携強化に努める。
- ③ 広報活動の充実を努め、管内校長会の取組や活動状況の啓発に努める。

### Ⅳ 当面する課題

会員数の減少に伴い校長会組織などの変更・改編により成果はあるものの、今後の会員数の減少を想定し、会の運営を工夫し少人数の利点を活かして有効に機能させる必要がある。

また、次代を担う若年層教員やミドルリーダーの育成、管理職志望者の育成と人選など、後継者を育てるための校長会組織による一体的な取組の在り方を検討し、実施していくことも課題である。

### Ⅴ 役員

会 長	前田 雄（留萌小）
副 会 長	長尾 真（留萌中）
監査委員長	小澤 真弓（遠別小）
監 査 委 員	安田 善見（緑丘小）
事 務 局 長	藤田 智哉（増毛中）
事務局次長	石田 正樹（古丹別小）
会 計	早坂 康（東光小）
研 究 部 長	明田 豊（苫前中）
組 織 部 長	堀井 理（羽幌小）
広 報 部 長	本間 博樹（苫前小）

